

工事名称 長岡技術科学大学（上富岡町）附属図書館（Ⅱ期）改修工事

設計図書・参考数量に対する変更一覧（追加指示書）

令和8年2月4日

設計図書・参考数量に対する変更一覧（追加指示書）

(上富岡町) 附属図書館（Ⅱ期）改修工事

No	図面番号	長岡技術科学大学（上富岡町）附属図書館（Ⅱ期）改修工事
1	現場説明書1頁 特A-01 A-01	完成期限を令和8年3月31日（火曜日）（ただし、財政法上の定めによる承認を得た場合は、令和8年9月28日（月曜日）まで延長する予定）に変更する。 現場説明書および特A-01（改修特記仕様書(1)）図、A-01（工事概要）図を差し替える。
2	A-119	既存アスファルト舗装表層撤去311m ² を削除する。 L形側溝撤去D450・L600の数量を52.8mから4.6mに変更する。 A-119（外構図（改修前））図を差し替える。
3	A-120	アスファルト舗装表層打換え50mmの数量を311m ² から107m ² に変更する。 L型側溝取替えD450・L600（目地10mm）・H100の数量を52.8mから4.6mに変更する。 駐車ライン引きW150白色（溶着）40.0mを削除する。 A-120（外構図（改修後））図を差し替える。
4	参考数量	上記変更一覧及び質疑事項回答書により、参考数量表を全て差し替える。

1 工事名 長岡技術科学大学(上富岡町)附属図書館(Ⅱ期)改修工事

2 工事場所 新潟県長岡市上富岡町1603-1 長岡技術科学大学上富岡町地区構内

3 完成期限 令和8年9月28日(月曜日)

令和8年3月31日(火曜日)

(ただし、財政法上の定めによる承認を得た場合は、令和8年9月28日(月)まで延長する予定)

4 一般事項

現場説明書の適用方法

- (1) ●印で始まる事項については、○印を付した事項のみ適用する。
- (2) 文中及び表中の各欄に数字、文字、記号等を記入する事項については記入してある事項のみ適用する。
- (3) —印又は×印で抹消した事項は全て適用しない。

5 施工に関する事項

(1) 工事用地

範囲は別図のとおりとし、使用にあたっては「工事用地使用許可願」を監督職員に提出して、発注者等の承諾を得ること。ただし、工事用地の借料は無償とする。

(2) 仮設物の設置等

① 仮設建物等

仮設建物等を設置するときは、「工事用地使用許可願」を監督職員に提出して発注者等の承諾を得ること。

② 障害物の撤去又は移設

障害物の撤去又は移設をするときは、別図及び監督職員の指示により行うこと。

③ 仮囲い等

仮囲い等を設けるときは、別図及び監督職員の指示に従うこと。

④ 監督職員事務所

●設ける(　　号) ●設けない

号	1	2	3	4	5	6
規模 (m ²)	10内外	20内外	35内外	65内外	100内外	

⑤ 仮設物の維持管理等

仮設物は、施工、監督及び検査に便利かつ安全な材料構造でかつ関係法規に準拠して設置するものとし、常に維持保全に注意すること。

⑥ その他

受注者は、建物、構内道路、側溝、地下埋設物等を汚損若しくは破損したときは、速やかに監督職員と協議の上、これを現状に復するものとする。

(3) 工事用電力等

① 工事用電力、電話、給水、排水等は受注者において手続きの上設置し、その費用及び使用料は受注者の負担とする。

② 工事用電力

・電力会社と協議の上引き込む ○発電機の設置

③ 工事用電話

・構外より引込む ○携帯電話等で対応する

④ 工事用給水

・構外より引込む ○構内より分岐できる

⑤ 工事用電力、電話、給水の引き込み位置は別図により、排水は別図又は監督職員の指示によ

長岡技術科学大学（上富岡町）附属図書館（Ⅱ期）改修工事																																																																																																																																																													
<p>I 工事概要</p> <p>1. 工事場所 新潟県長岡市上富岡町1603-1（長岡技術科学大学構内）</p> <p>2. 完成期限 令和8年9月28日（月）～令和8年3月31日（火曜日）（ただし、財政法上の定めによる承認を得た場合は、令和8年9月28日（月曜日）まで延長する予定）</p> <p>3. 建物概要</p> <table border="1"> <tr> <td>建物名称</td> <td>附属図書館</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工種</td> <td>模様替え</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>構造</td> <td>鉄筋コンクリート造</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>階数</td> <td>地上3階建</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建築面積(m²)</td> <td>1,254</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ面積(m²)</td> <td>3,147</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>消防法施行令別表第一の区分</td> <td>7項</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>改修面積(m²)</td> <td>1,075(3階)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>4. 工事種目</p> <ul style="list-style-type: none"> 印の付いたものが対象工事種目 <table border="1"> <thead> <tr> <th>建物別及び屋外</th> <th>工事種別</th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事種目</td> <td>附属図書館</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>① 仮設工事</td> <td>一式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③ 防水改修工事</td> <td>一式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>④ 外壁改修工事</td> <td>一式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤ 建具改修工事</td> <td>一式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑥ 内装改修工事</td> <td>一式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑦ 塗装改修工事</td> <td>一式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑧ 防震改修工事</td> <td>一式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑨ 環境配慮改修工事</td> <td>一式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑩ ユニット及びその他工事</td> <td>一式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑪ 排水工事</td> <td>一式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑫ 補装工事</td> <td>一式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 4 地盤工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑬ 鉄筋工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑭ コンクリート工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>5. 指定部分 ①無 ②有 対象部分（ ） 指定部分工期 令和 年 月 日（曜日）</p> <p>6. 概成工期 ①無 ②有 令和 年 月 日（曜日） (1.2.1) [1.2.1]</p> <p>II 工事仕様</p> <p>1. 共通仕様</p> <p>(1) 文部科学省発注工事請負等契約規則（文部科学省訓令第二十二号）別記第1号の工事請負契約基準、現場説明書、図面 82 枚及び本特記仕様書 13 枚によるほか、下記仕様書等のうち、○印の付いたものを適用する。</p> <p>① 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和7年版）（以下「標準仕様書」という。）</p> <p>② 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和7年版）（以下「改修標準仕様書」という。）</p> <p>③ 文部科学省建築工事標準仕様書（特記基準）（令和7年版）（以下「文科仕様書」という。）</p> <p>④ 文部科学省建築改修工事標準仕様書（特記基準）（令和7年版）（以下「文科改修仕様書」という。）</p> <p>⑤ 工事写真撮影要領（令和5年9月）</p> <p>⑥ 建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）</p> <p>⑦ 建築工事標準詳細図（令和4年版）</p> <p>(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、それぞれの特記仕様書を適用する。 なお、電気設備工事の特記仕様書は（ ）、機械設備工事の特記仕様書は（ ）による。</p> <p>2. 特記仕様</p> <p>(1) 本特記仕様書の表記</p> <p>1) 項目は、○印の付いたものを適用する。</p> <p>2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。</p> <p>① 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。</p> <p>② 印と③印の付いた場合は、共に適用する。</p> <p>3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p> <p>特記事項に記載の（ ）内表示番号は、文科仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、文科改修仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p> <p>4) ④印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（平成12年法律第100号）に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和7年1月28日変更閣議決定）」に定める特定調達品における判断の基準（特定調達品目「公共工事」においては表中の品目ごとの判断の基準）を満たすものを示す。</p> <p>章 項目 特記事項</p> <p>1 各章共通事項</p> <p>① 適用区分</p> <p>◎建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。</p> <p>○風圧力 風速 (V_o= 30 m/s) 地表面粗度区分 (・I ・II ・III ・IV)</p> <p>○積雪荷重 平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域 別表 (30) 長岡市建築基準法施行細則より垂直積雪量250cm 積雪単位荷重29.4N/cm</p> <p>◎電気保安技術者、工事用電力設備の保安責任者</p> <p>この工事現場に下記いずれかの資格を有する電気保安技術者を選任する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目名</th> <th>電気保安技術者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 第3種電気主任技術者以上の資格を有する者</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>2 1級電気工事施工管理技士の資格を有する者</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>3 高等学校又はこれらと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>4 旧電気工事技術者検定規定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>5 公共事業局又は通商産業局の指定を受けた高圧試験に合格した者</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>6 第1種電気工事の資格を有する者</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>7 2級電気工事施工管理技士の資格を有する者</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>8 第2種電気工事以上の資格を有する者</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>9 短時間学習若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学（実験を含む）に関する科目を修めて卒業した者</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>工事用電力を構外から引き込む場合は、法令に基づく有資格者を定め、監督職員に報告する。</p> <p>◎施工条件</p> <p>この工事現場では、次の施工条件による。 (1.3.5) [1.3.5]</p> <p>1) その他の、学内行事等のため工事を制限する場合がある。 2) 大学敷地内は、指定警戒場所以外、全て禁煙である。 3) 令和8年6月27日（土）、28日（日）は入学試験のため作業は行わないこと。 4) 令和8年9月12日（土）、13日（日）は大学祭のため作業は行わないこと。 5) 今回工事は、執務並びに改修である。 6) 当該工事の施工に先立ち、別途電気及び機械設備工事業者と協力して総合図（プロット図）を作成し施設担当者及び監督職員に承諾を受けること。</p> <p>◎発生材の処理等</p> <p>(1) 引渡しを要するもの (1.3.11) [1.3.12]</p> <p>1) 品名 なし 引渡し先 集積場所</p> <p>(2) 特別管理産業廃棄物 1) 品名 なし 処理方法</p> <p>(3) 現場において再利用を図るもの 1) 品名 なし 使用箇所</p> <p>(4) 再資源化を図るもの 1) 品名 ◎建設発生土 受入場所 2) 品名</p> <p>(5) その他発生材については、標準仕様書に従い、適切に処理する。</p> <p>◎環境への配慮</p> <p>(1.4.1) [1.4.1]</p> <p>1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、单板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保材、織物、塗料、仕上材等は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑性（フル酸ジ-2-ブチル及びフル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。</p> <p>◎材料の品質等</p> <p>(1.4.2) [1.4.2]</p> <p>1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。 3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 4) 本工事に使用する材料のうち、5)に指定する材料の製造業者は、次の①から⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外取扱機関が発行する証明書の写し等）を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 ① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ② 生産設施及び品質の管理体制を適切に行っていること。 ③ 安定的な供給が可能であること。 ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥ 廉価、保守等の営業体制を整えていること。 5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料</p> <p>◎材料の検査等</p> <p>(1.4.4) [1.4.4]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料名</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 石綿含有建材の調査</p> <p>調査</p> <p>※石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、あらかじめ監督職員に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。</p> <p>貸与資料 ()</p> <p>・ 分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリンソイル、クロシドライト、トレモロライト 分析方法</p> <p>材料名 定性分析方法 定量分析方法</p> <p>(JIS A 1481-1) または (JIS A 1481-3) 、 (JIS A 1481-2) または (JIS A 1481-5)</p> <p>外装仕上材 内装仕上材</p> <p>サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 ・ 図示による</p> <p>・ 技能士</p> <p>・ 適用工事種別 技能検定の種別</p> <p>仮設工事 とび工 鉄筋工事 鉄筋組立、鉄筋施工 コンクリート工事 型枠施工、コンクリート圧送施工 鉄骨工事 鉄工 防水工事 防水施工、樹脂接着剤注入施工 石工事 石工事 タイル工事 タイル張り 木工事 建築大工 屋根、.innerHeight 金板金 左官工事 左官 建具工事 サッシ施工、カーテンウォール施工、自動ドア施工 塗装工事 建築塗装 内装工事 内装仕上げ施工、天井仕上げ施工、床仕上げ施工</p> <p>・ 施工の検査等</p> <p>(1.5.5) [1.5.5]</p> <p>標準仕様書等に定めがあるもの以外で、次に示す施工については、監督職員の検査を受ける。 検査等を行う施工 備考</p> <p>・ 施工の立会い</p> <p>(1.5.7) [1.7.7]</p> <p>標準仕様書等に定めがあるもの以外で、次に示す工事段階及び事項については、監督職員の立会いを受ける。 施工の立会いを行う工程 備考</p> <p>外壁関係 外部足場を解体する前 軽量鉄骨下地組 下地組が完了した段階</p> <p>・ 化学物質の濃度測定</p> <p>(1.5.10) [1.7.10]</p> <p>(1) 施工完了後、引渡し前に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシン、エチルベンゼン、スチレン等の濃度を測定し、測定結果を監督職員に報告する。 測定対象化学物質 指針値 (単位) (単位) の換算は、25°C の場合による。) ホルムアルデヒド 100 μg/m³ (0.08ppm) 以下 トルエン 260 μg/m³ (0.07ppm) 以下 キシン 200 μg/m³ (0.05ppm) 以下 エチルベンゼン 370 μg/m³ (0.085ppm) 以下 スチレン 220 μg/m³ (0.05ppm) 以下</p> <p>(2) 测定対象室及び測定箇所数は以下の通り。 棟名称 階 室名 採取本数</p> <p>附属図書館 1 プレゼンテーションスペース 1 1 資料室 1 2 ラーニングコモンズ 1 2 開架閑観室 1 3 開架閑観室 2</p> <p>(3) 测定方法は、(①吸引方式（アクティブ法）・拡散方式（バッシャップ法）)により行う。</p> <p>(4) 文部科学省の「学校環境衛生基準」に基づき、採取は室内の温度が高い時期に行い、吸引方式では30分間で2回以上、拡散方式では8時間以上行う。</p> <p>(5) 测定結果が指針値を超えていた場合は、発生源を特定し、換気等の措置を講じた後、再度測定し、基準以下であることを確認してから引渡しを行う。</p> <p>・ 完成時の提出図書</p> <p>(1.7.1~3) [1.9.1~3]</p> <p>次の図書を監督職員に提出する。また、それらを本工事目的に用いて使用するための権利については、発注者に委譲する。</p> <p>1) 完成図 ◎ADデータ（電子納品）及び電子データ（PDF形式） 1部 ・ A1版原図 ・ A2版原図 ◎A3複写図（製作） 1部 ◎A1複写図（製作） 1部 ◎施工計画書（M4ファイル総じ） 1部 ◎施工図（提出部数等は監督職員と協議による。）</p> <p>2) 保全に関する資料 ◎電子データ（PDF形式） 1部 ◎M4ファイル総じ 1部</p> <p>2 仮設工事</p> <p>・ 騒音・粉じん等の対策 ・ 防音パネル ・ 防音シート 防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲 ・ 図示による</p> <p>・ 足場等</p> <p>・ 既存躯体に穿孔する場合に、金属探知により電源供給が停止できる付属装置等を用いる。</p> <p>・ 既存躯体に穿孔する場合に、金属探知により電源供給が停止できる付属装置等を用いる。</p> <p>[2.1.3]</p> <p>「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(1)手すり据置き方式又は(2)手すり先行専用足場方式により行う。</p> <p>外脚足場 ①設置する （設置範囲 ◎工事に必要な範囲 図示による ） ・ 設置しない 防護シート ・ 設置する （設置範囲 ◎工事に必要な範囲 図示による ◎ネット養生） ・ 設置しない</p> <p>[2.2.1] [表 2.2.1]</p> <p>「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(1)手すり据置き方式又は(2)手すり先行専用足場方式により行う。</p> <p>外脚足場 ①設置する （設置範囲 ◎工事に必要な範囲 図示による ◎ネット養生） ・ 設置しない 防護シート ・ 設置する （設置範囲 ◎工事に必要な範囲 図示による ◎ネット養生） ・ 設置しない</p> <p>3) 工事写真（「工事写真撮影要領」による。） ◎原本（電子媒体） 1部 ◎アルバム（紙又は電子媒体） 1部 4) 完成写真 工事完成時に次の写真を撮影し、監督職員に提出する。</p> <p>撮影部位 形式・サイズ 提出セッタ数 及び画質等 撮影者</p> <p>・ 外観正面 (1)箇所 ・ カラー印画紙キャビネ判 1 4500×3000 ビクセル以上の撮影実績がある者で、監督職員が承諾する撮影業者</p> <p>・ 上記と異なる外部： 箇所 内部： 箇所 ・ カラー印画紙キャビネ判 A4アルバム総じ (注) 任意</p> <p>・ 外部： 4 箇所 内部： 各室2箇所 程度 ・ カラー印画紙キャビネ判 A4アルバム総じ (注) 1 1280×960 ビクセル以上の撮影したデジタルカメラの設定のうち最高の画質</p> <p>(注) のアルバムは併せて作成する。</p> <p>電子納品は次の規定に従うものとする。</p> <p>1) 貸与する設計図のCADデータは以下による。 著作者名： 長岡技術科学大学 施設課 ファイル形式： JWW, PDF, DXF 貸与条件： 貸与するCADデータを本工事における施工図又は完成図の作成のために以外に使用しないこと。</p> <p>2) 完成写真の撮影に関する著作権の権利等については次の(i)及び(ii)によることとし、受注者は撮影者等との契約に当たってもそれらの承諾を条件とする。 i) 提出された写真は、国が行う業務及び国が認めた用途に関して、無償で利用することができるものとする。この際、著作者名を表示しないこと及びその利用に必要な範囲で変更を行えることができるものとする。 ii) 受注者及び撮影者は、撮影時に取得した全ての写真（提出していないものも含む。）及びその改変物、複製物を公表、閲覧、譲渡その他一切の方法により第三者に使用させてはならない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を受けた場合は、この限りではない。</p> <p>3) 電子納品の対象は上記によるほか、監督職員と受注者で協議を行う。</p> <p>4) 電子成果物は、提出前にライセンス対策を実施したうえで監督職員に提出する。</p> <p>5) 提出方法及びファイル形式は以下による。 電子媒体： CD-RXはDVD-R CADデータ： JWW, DXF及 PDF 上記の他、監督職員が認めた形式</p> <p>工事区分表による。これにより難い場合は監督職員と協議する。</p> <p>あと施工アンカーエクステンション 6章および8章による コア抜き： はつり工事等 既存資料調査 ①探査機（電磁波レーダー法又は電磁波誘導法）による探査 配管・配線等の位置の墨出を行う 範囲 ※図示による ・ 放射線透視試験 労働安全衛生法、「電離放射線障害防止規制」（昭和47年労働省令第41号）等に定めるところによるほか、次による。 1) 作業主者は、エックス線操作業者の資格を有するものとし、資格を証明するものとし、資格を証明する資料を監督職員に提出する。 2) 放射線被曝量は最小限のものとし、照射中は人体に影響のない程度まで照射器より離れる。また、作業者以外の立入り禁止措置を講ずる。 3) 露出時間は、コンクリートの厚さ等により、適宜調整する。 4) 付近にフィルム、磁気ディスク等放射線の影響を受けるものの有無を確認する。 5) 驅体の墨出しは、表裏でズレがないように指標を講ずる。 撮影枚数 枚 フィルムサイズ コンクリート厚さ cm ④ 既存躯体に穿孔する場合に、金属探知により電源供給が停止できる付属装置等を用いる。</p> <p>Notices Client 国立大学法人長岡技術科学大学 施設課 長岡技術科学大学（上富岡町）附属図書館（Ⅱ期）改修工事 Project No. 2024_DCS23-NGOKI Scale N.S. SHIBATA Architect and Associates 株式会社シバタ建築設計事務所 会社 富山県小矢部市奥町7-3 O TEL. 0766(68)177 / FAX. 0766(68)1321 File Name. Date 2025.06 Drawer 一級建築士 大臣登録 第344849号 柴田 昭浩 Drawing No. 特A-01 管理建築士 第240812160104号 一級建築士 大臣登録 第344840号 柴田 昭浩</p>					建物名称	附属図書館				工種	模様替え				構造	鉄筋コンクリート造				階数	地上3階建				建築面積(m ²)	1,254				延べ面積(m ²)	3,147				消防法施行令別表第一の区分	7項				改修面積(m ²)	1,075(3階)				備考					建物別及び屋外	工事種別				工事種目	附属図書館				① 仮設工事	一式				③ 防水改修工事	一式				④ 外壁改修工事	一式				⑤ 建具改修工事	一式				⑥ 内装改修工事	一式				⑦ 塗装改修工事	一式				⑧ 防震改修工事	一式				⑨ 環境配慮改修工事	一式				⑩ ユニット及びその他工事	一式				⑪ 排水工事	一式				⑫ 補装工事	一式				・ 4 地盤工事					⑬ 鉄筋工事					⑭ コンクリート工事					項目名	電気保安技術者	1 第3種電気主任技術者以上の資格を有する者	○	2 1級電気工事施工管理技士の資格を有する者	・	3 高等学校又はこれらと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者	・	4 旧電気工事技術者検定規定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者	・	5 公共事業局又は通商産業局の指定を受けた高圧試験に合格した者	・	6 第1種電気工事の資格を有する者	○	7 2級電気工事施工管理技士の資格を有する者	・	8 第2種電気工事以上の資格を有する者	○	9 短時間学習若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学（実験を含む）に関する科目を修めて卒業した者	・	材料名	備考						
建物名称	附属図書館																																																																																																																																																												
工種	模様替え																																																																																																																																																												
構造	鉄筋コンクリート造																																																																																																																																																												
階数	地上3階建																																																																																																																																																												
建築面積(m ²)	1,254																																																																																																																																																												
延べ面積(m ²)	3,147																																																																																																																																																												
消防法施行令別表第一の区分	7項																																																																																																																																																												
改修面積(m ²)	1,075(3階)																																																																																																																																																												
備考																																																																																																																																																													
建物別及び屋外	工事種別																																																																																																																																																												
工事種目	附属図書館																																																																																																																																																												
① 仮設工事	一式																																																																																																																																																												
③ 防水改修工事	一式																																																																																																																																																												
④ 外壁改修工事	一式																																																																																																																																																												
⑤ 建具改修工事	一式																																																																																																																																																												
⑥ 内装改修工事	一式																																																																																																																																																												
⑦ 塗装改修工事	一式																																																																																																																																																												
⑧ 防震改修工事	一式																																																																																																																																																												
⑨ 環境配慮改修工事	一式																																																																																																																																																												
⑩ ユニット及びその他工事	一式																																																																																																																																																												
⑪ 排水工事	一式																																																																																																																																																												
⑫ 補装工事	一式																																																																																																																																																												
・ 4 地盤工事																																																																																																																																																													
⑬ 鉄筋工事																																																																																																																																																													
⑭ コンクリート工事																																																																																																																																																													
項目名	電気保安技術者																																																																																																																																																												
1 第3種電気主任技術者以上の資格を有する者	○																																																																																																																																																												
2 1級電気工事施工管理技士の資格を有する者	・																																																																																																																																																												
3 高等学校又はこれらと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者	・																																																																																																																																																												
4 旧電気工事技術者検定規定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者	・																																																																																																																																																												
5 公共事業局又は通商産業局の指定を受けた高圧試験に合格した者	・																																																																																																																																																												
6 第1種電気工事の資格を有する者	○																																																																																																																																																												
7 2級電気工事施工管理技士の資格を有する者	・																																																																																																																																																												
8 第2種電気工事以上の資格を有する者	○																																																																																																																																																												
9 短時間学習若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学（実験を含む）に関する科目を修めて卒業した者	・																																																																																																																																																												
材料名	備考																																																																																																																																																												

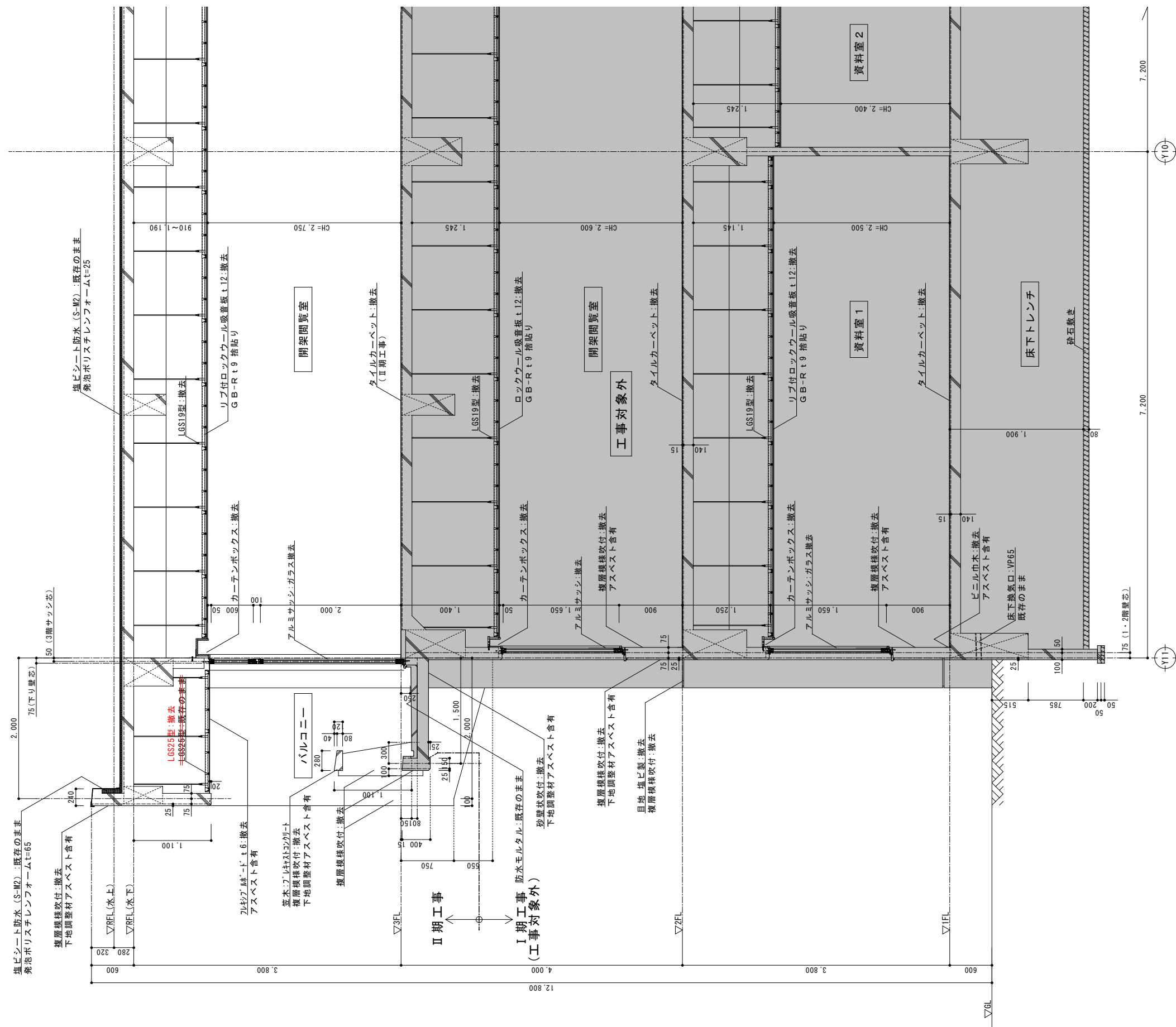
工事概要		建物概要			一般事項									
工事名称	長岡技術科学大学(上富岡町)附属図書館(Ⅱ期)改修工事	用途	大学(図書館)	防火上主要な間仕切壁 (以下、防火間仕切壁)	LGS65-100 強化石膏ボード t 12.5+12.5(両面)二重張 【1時間耐火 耐火構造認定番号 FP060NP-0174】									
工事場所	長岡市上富岡町1603-1 (長岡技術科学大学上富岡町地区構内)	階数	地上3階建て	断熱材	居室部分の外壁内面、R階床スラブ下:現場発泡硬質ウレタン(A種1H)吹付 t 25									
工事種別	模様替え	構造	鉄筋コンクリート造	界壁遮音材	居室間界壁の間仕切壁:可動間仕切壁(遮音タイプ) t 70									
用途地域	第一種中高層住居専用地域	耐火区分	耐火建築物	アスペクトに関する特記										
防火地域	指定なし	高さ	建築物の高さ 12.800m 建築物の軒高 9.490m	<石綿含有分析調査結果一覧表>			アスペクト含有建材リスト(仕上塗材)							
その他の地域等	指定なし、法第22条区域、下水道処理区域	便所	なし	1 外壁 仕上塗材 下地調整材	無 有	部位 建 材 名 含有の有無	2 機械室 ダクトフランジ バッキン材	有	内部壁 複層模様吹付	有	レベル Iレベル3	除去工法 特記による	隔離養生 無	<備考> ・上記表中の工法及び隔離養生は、処理方法(案)を示す。
未完成期限	令和3年4月～令和3年9月28日(月曜) 令和3年3月31日(火曜)(ただし、財政法上の定めによる承認を得た場合は、 令和3年9月28日(月曜)まで延長する予定)			3 配管エルボ 水練り保温材	有		4 機械室 ダクト キャンバス継手	有						工法決定に際しては、関係課(長岡労働基準監督署安全衛生課、新潟県長岡市地域振興局健康福祉環境センター環境課)及び監督職員と十分協議を行うこと。 ・隔離養生の方法は「建築物の改修・解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術指針」6. 隔離工法による。
敷地面積	258.982.23m ²			5 A階段 床 接着材	無									・記載工法以外のものを採用する場合は、監督職員と協議すること。 また、工法によっては減額となる場合もあり得る。 ・左表中の仕上材は設計時に石綿含有分析調査を行っている。 ・既存塗膜除去範囲は、内壁R1解体部と撤去建具周囲W100程度とする。
建築面積	1,254.66m ²													
延べ床面積	3,147.09m ²													
工事範囲	本工事建物は地上3階建てである。そのうち1、2階部分(一部を除き)をⅠ期工事、 3、R階部分(一部を除き)をⅡ期工事としており、本工事はそのⅡ期工事である。													

共通事項

用語の説明	「既存」とは、既存のまとすること。 「撤去」とは、既存物を壊し取ること。 「撤去・新設」とは、 既存物を撤去し、新たなものを作設すること。 「取外し」とは、再使用を考慮して、丁寧に外すこと。 「取外し・再取付け」とは、 既存物を取外し、同じものを取り付けること。	新設・改修共通	7. 床のビニル床シートは溶接工法とする 8. 壁下地のLGSは天井裏(上階スラブ下)まで設けるものとする 9. 壁ボード類は遮音間仕切壁や防火区画壁・防火上主要な間仕切壁を除き、天井面にて止めるものとする 10. 柱型、梁型の仕上は壁仕上に準ずる 11. 塗装下地ボードの施工は継目処理工法とする 12. 化粧ケイカル板・化粧フレキシブル板はジョイナ目地とする 13. 化粧ケイカル板のサッシ取合部目地幅は3mmシールとする。 14. 使用内装材料はすべてF☆☆☆☆(規制対象外)とする 15. 防湿防水シート端部はブルテープにて処理する 16. 各種ライニング、カウンター、手摺、化粧鏡等の高さは、現場にて再度施工確認の上決定とする 17. 手洗い、手摺、小便器等が設置される壁面には下地を見込むこと 18. 衛生器具、家具と内装仕上の取合部はシーリング打ちとする	新設・改修共通	19. 天井中心線は天井総合図を作成の上、決定のこと 20. 天井内のものは全て不燃材料とする 21. 設計図に記載のメーカーは全て参考であり、同等以上を確保すること 22. 建築する上で、必要な仮設計画は全て見込むこと。 例年積雪量、耐風圧を考慮して笠木の強度その他を選定すること。 23. 欠損部改修は充填工法(200×200)とし、設計数量は【0.02ヶ所/m ² 】を参考数量とする。 24. 防水の納まりは十分検討すること。 25. 建物用途上、安全性を高めることを前提とし、出脚部は必ずR面取りを施すこと。(見切共)。 26. 諸官庁の申請手続きは、全て請負業者の責任において行うこと。	外壁躯体補修	※参考数量は次の通りとする 1. 外壁(根掘り、軒裏、柱型・梁型等を含む。)はひび割れ部、欠損部、鉄筋露出部の躯体補修を行うこと。 2. ひび割れ部改修はリカットシール充填工法とし、設計数量は【0.14m ² /m ² 】を参考数量とする。 3. 欠損部改修は充填工法(200×200)とし、設計数量は【0.02ヶ所/m ² 】を参考数量とする。 4. 鉄筋露出部改修はアルカリ付与の上、樹脂モルタル充填工法とし、設計数量は【0.04ヶ所/m ² 】を参考数量とする。 5. 塗装の剥がれ、浮きはアカビンガ部分等の樹脂注入工法とし、設計数量は【0.012m ² /m ² 】を参考数量とする。 6. 施工に先立ち敷蓋調査を行い、上記設計数量との相違・増減を含め、監督職員と協議の上施工すること。 7. 補修部分は既存仕上材(下地調整材共)を除去(W100程度)し、撤去部、削孔部共に適切に温潤し、集塵装置付きディスクグラインダー工法にて除去すること。除去したものはアスペクト含有材として適切に処理すること。 8. 仕上がり欠落した部分には新たにC-2にて段差解消を行なうこと。	内壁躯体補修	1. 内壁コアート壁(床、柱型・梁型等を含む)のうち、仕上げとして現れる部分についてはひび割れ部の躯体補修を行うこと。 2. あと施工アンカーワークの際は、集塵機付きハンマードリルを使用し、既存吹付材に含有の石綿が飛散しないよう充分注意すること 3. 建具撤去部分(建具周囲W100程度)のアスペクト除去を見込むこと。 4. 鉄部及び木部の下地処理は特記なき限りR6種とする。 鉄部は下地調整後、錆止め塗装塗りを行うこと。	改修	<特記なき限り下記による> 1. 既存床材の撤去はスカラーベー、ディスクサンダー等により、新規仕上げの施工に支障のないよう除去する。 2. 建具周囲、電気設備、機械設備等改修に伴う補修及び破損箇所で、特記のない場合は原則として既存仕上げにて補修する。頭り縫、巾木等も必要に応じ撤去復旧とする。 3. 建具枠等撤去に伴う箇所は、周囲モルタルカッターアートし、特記のない場合は原則として新規仕上げにて補修する。 4. 鉄部及び木部の下地処理は特記なき限りR6種とする。 鉄部は下地調整後、錆止め塗装塗りを行うこと。				
新設・改修共通	<特記なき限り下記による> 1. 特記なき限り柱型・梁型の仕上は壁仕上に準ずる 2. 塗装下地ボードの施工はジョイント工法とする 3. 壁下地のLGSは天井裏(上階スラブ下 又は梁下)まで設けるものとする 4. 使用内装材料はすべてF☆☆☆☆(規制対象外)とする 5. 各種カウンター、手摺等の高さは、現場にて再度施工確認の上決定とする 6. 特記なき限り集成材は、天然木集成材を示す														

Notices	Client	国立大学法人長岡技術科学大学 施設課	長岡技術科学大学(上富岡町)附属図書館(Ⅱ期)改修工事	Project No. 2024_DCS23-NGOKI	Scale N. S.	SHIBATA Architect and Associates	株式会社シバタ建築設計事務所 富山県小矢部市泉町7-3 TEL:0766(68)1177 / FAX:0766(68)1321 管理建築士 第21408121601014号 一級建築士 大臣登録 第34489号 柴田 昭浩	Drawer 一級建築士 大臣登録 第34489号 柴田 昭浩	Drawing No. A-01
		長岡技術科学大学(上富岡町) 附属図書館改修実施設計業務(建築・設備)	Drawing Name. 工事概要	File Name.	Date 2025.06				

改修前



Notices

Client	国立大学法人長岡技術科学大学 施設課
	長岡技術科学大学（上富岡町） 附属図書館改修実施設計業務（建築・設備）

	長岡技術科学大学(上富岡町)附属図書館(Ⅱ期)改修工事
引)	Drawing Name. 矩計図 1 (改修前)

Project No.	Scale
2024_DCS23-NGOKLI	1/30 (A1) 1/60 (A3)
File Name.	Date 2025. 06

SHIBATA
Architect
and
Associates 株式会社 シバタ建築設計事務所
富山県小矢部市奥町7-30 管理建築士 第2140812160104号
TEL 0706(68)1177 ~ FAX. 0766(68)1321 一級建築士 大臣登録 第344849号
<https://shibata-and-associates.com/> 柴田 浩吉

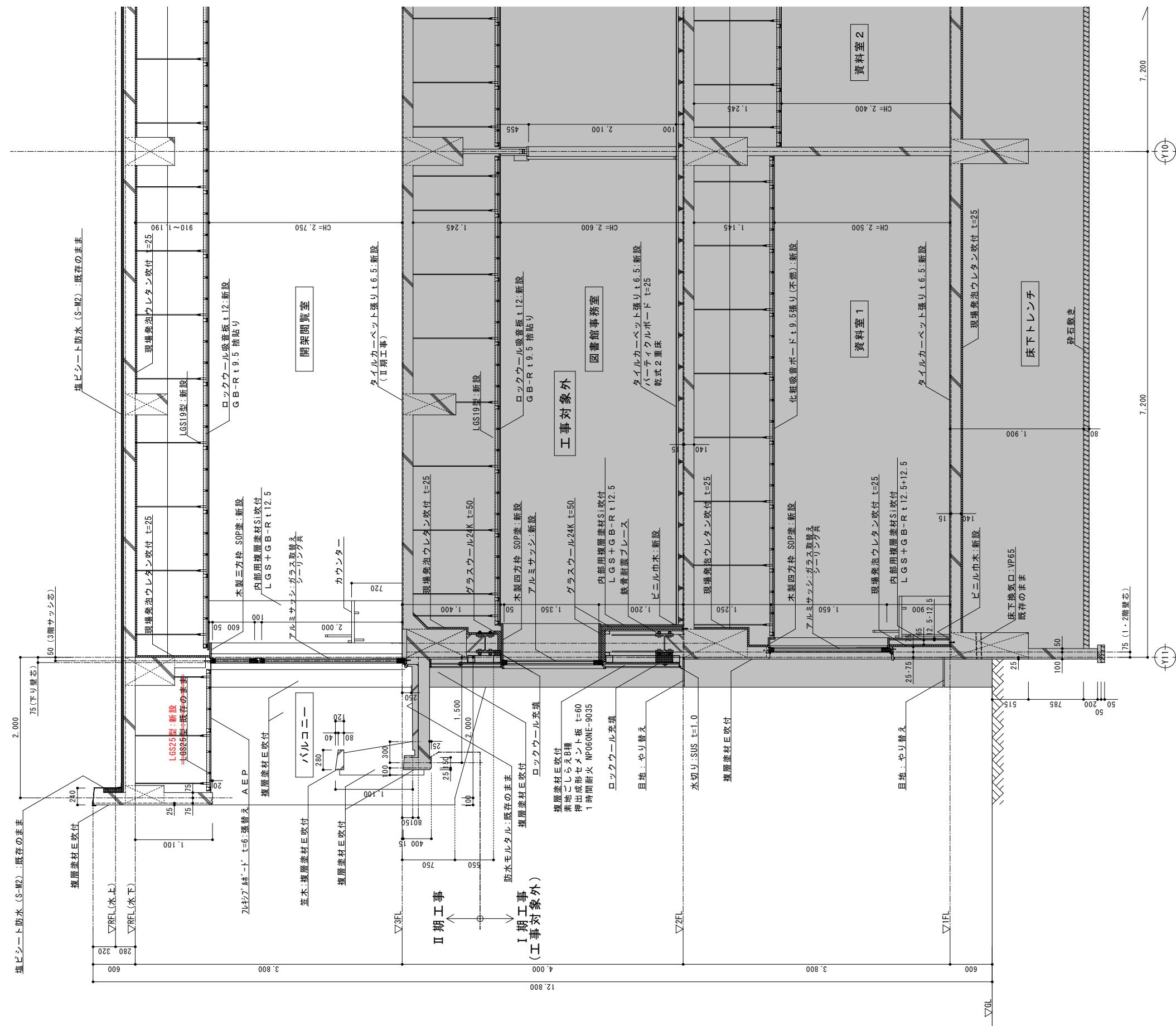
級建

(工事対象外)

1

Drawing No.

改修後



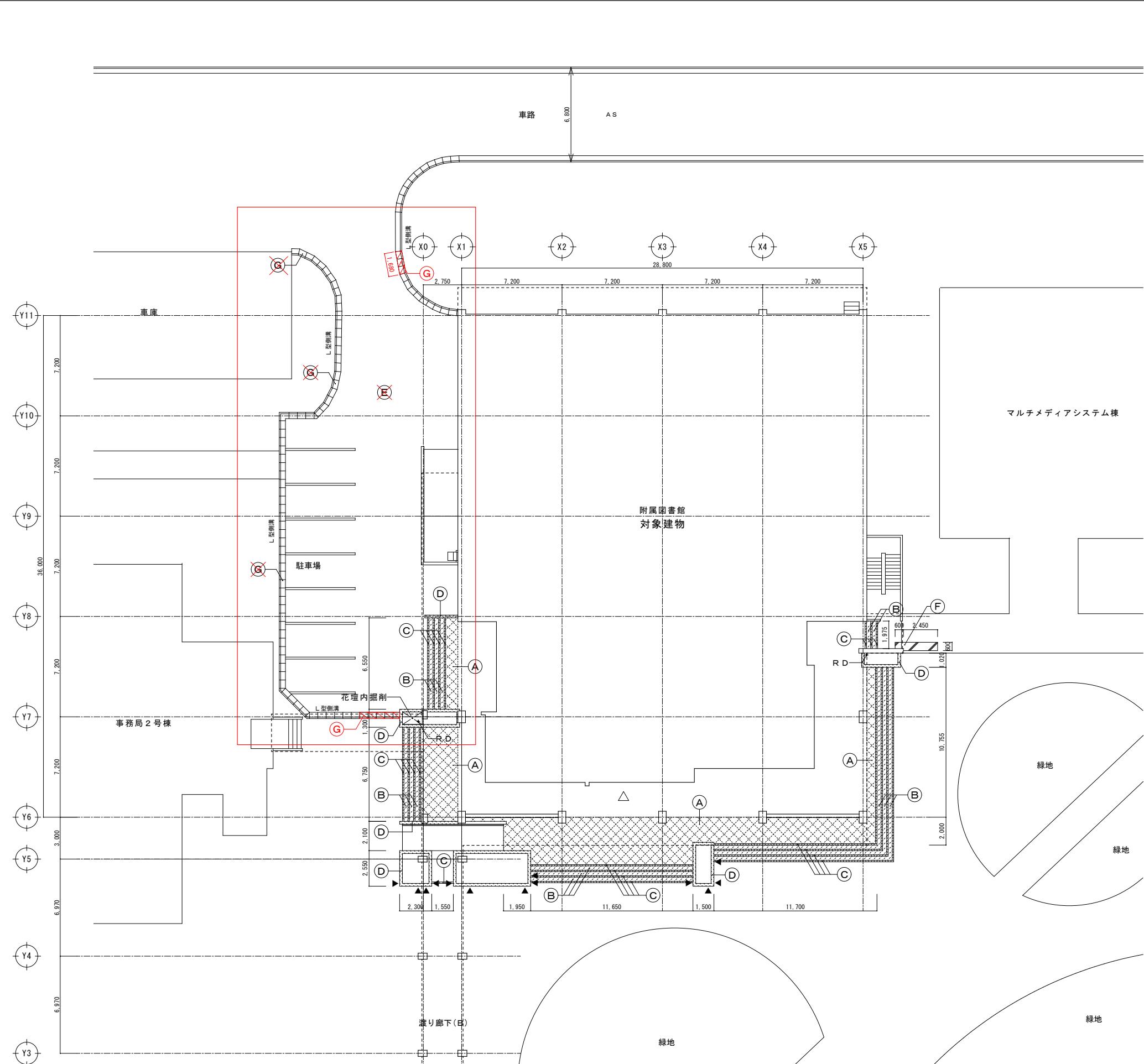
Notices	Client
	国立大学法人長岡技術科学大学 施設課
	長岡技術科学大学（上富岡町）附属図書館(II期)改修工事

Client
長岡技術科学大学（上富岡町） 附属図書館改修実施設計業務（建築・設備）

Drawing Name.	Project No.	Scale
矩計図1 (改修後)	2024_DCS23-NGOKI	1/30 (A1) 1/60 (A3)
		Date 2025.06

SHIBATA Architect and Associates
富山県小矢部市泉町7-3 O TEL. 0766(68)1177 / FAX. 0766(68)1321 https://shibata-and-associates.com/

株式会社シバタ建築設計事務所	Drawer
富山県小矢部市泉町7-3 O TEL. 0766(68)1177 / FAX. 0766(68)1321 https://shibata-and-associates.com/	一級建築士 大臣登録 第344849号 柴田 昭浩
	一級建築士 大臣登録 第344840号 柴田 昭浩



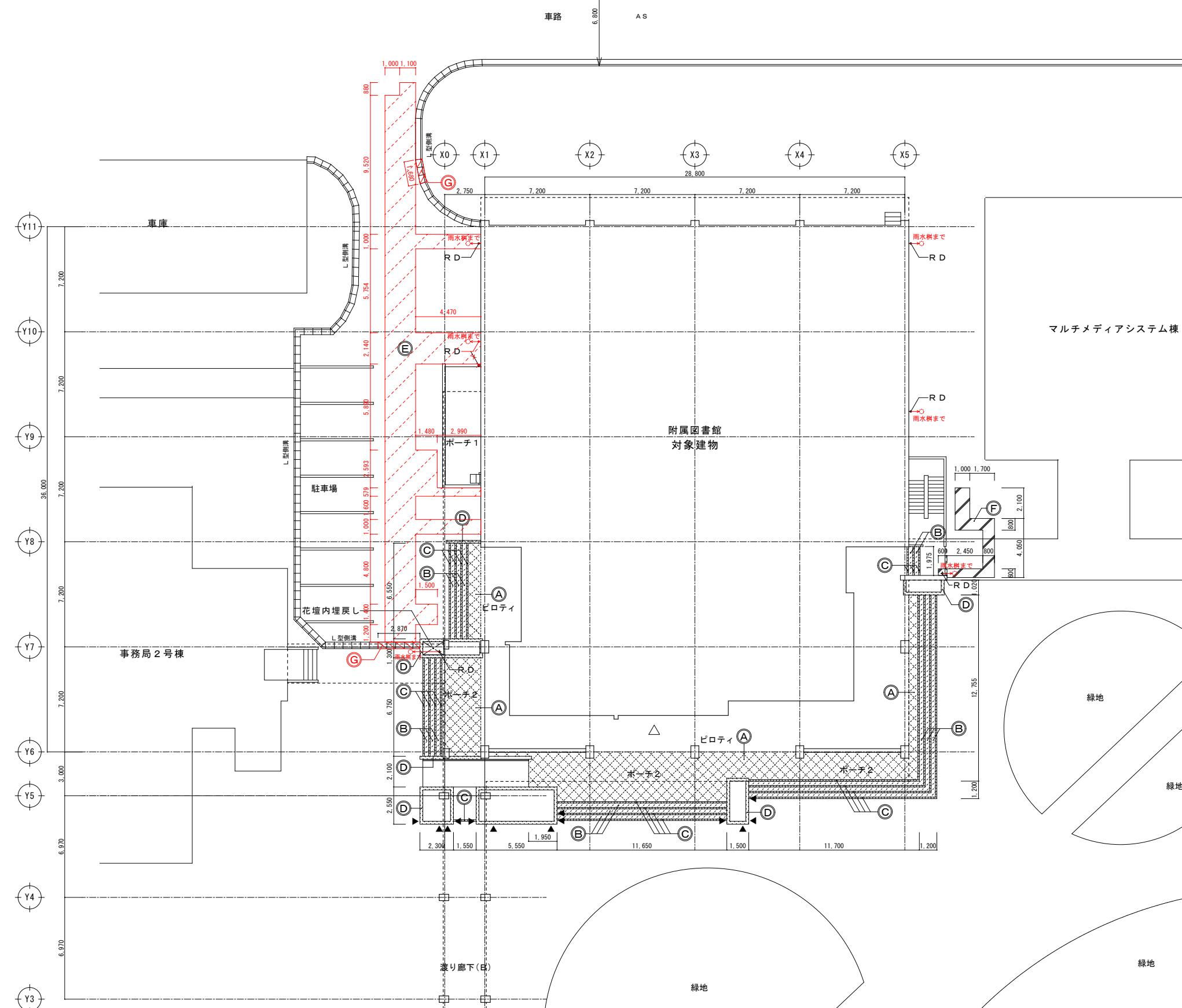
外構改修工事 凡例			
凡例		工事概要	数量等
	(A)	床仕上げ (セッキ質タイル張り) 水洗い	98.7 m ²
	(B)	踏面 (セッキ質タイル張り) 水洗い	67.6 m ²
	(C)	階段段鼻撤去	210 m
	(D)	花壇 (セッキ質タイル張り) 水洗い (天端・立上り共)	41.3 m ²
	(E)	既存アスファルト舗装表層撤去	311 m ²
	(F)	コンクリート舗装撤去	1.7 m ²
	(G)	L形側溝 撤去 D 450・L 600	4.6 m 52.8 m
▲		花壇ひび割れ部タイル撤去	
R D		既存雨樋 花壇内埋設管撤去	2ヶ所

变更範囲

Notices	Client 国立大学法人長岡技術科学大学 施設課	長岡技術科学大学(上富岡町)附属図書館(Ⅱ期)改修工事	Project No. 2024_DCS23-NGOKLI	Scale 1/150(A1) 1/300(A3)	SHIBATA Architect and Associates	株式会社シバタ建築設計事務所 富山県小矢部市奥町7-3 O TEL.0766(68)1177 / FAX.0766(68)1321 管理建築士 第214081260104号 一級建築士 大臣登録 第344849号 https://shibata-and-associates.com/ 柴田 昭浩	Drawer 一級建築士 大臣登録 第344849号 柴田 昭浩	Drawing No. A-119
	長岡技術科学大学(上富岡町) 附属図書館改修実施設計業務(建築・設備)	Drawing Name. 外構図(改修前)	File Name.	Date 2025.06				
							Drawer 管理建築士 第344849号 柴田 昭浩	

外構改修工事 凡例

凡例	工事概要	数量等
(A)	カチオン系下地調整材塗り 1.0mm程度の上無機系速硬化薄塗ベーストデザイン床(新設)	98.7 m ²
(B)	路面 タイル撤去跡モルタル補修の上カチオン系下地調整材塗り 1.0mm程度無機系速硬化薄塗ベーストデザイン床(新設)	67.6 m ²
(C)	階段段差やり替え	210 m
(D)	花壇ひび割れ部補修の上タイル復旧(既存合せ)(天端・立上り共)	41.3 m ²
(E)	アスファルト舗装表層打換△50mm 国交省標準 9-2 1-1	107 m ²
(F)	コンクリート補修	8.6 m ²
(G)	L型側溝 取替え D450-L600(目地10mm)·H100 国交省標準 9-1 1-2	4.6 m ²
(H)	駐車ライン引き W150 白色(溶着)	52.8 m
▲	花壇ひび割れ補修	
R D	雨樋VP管100φ設置 壁面から雨水第一樹まで	6ヶ所



Notices	Client 国立大学法人長岡技術科学大学 施設課	長岡技術科学大学(上富岡町)附属図書館(Ⅱ期)改修工事	Project No. 2024_DCS23-NGOKI	Scale 1/150(A1) 1/300(A3)	SHIBATA Architect and Associates	株式会社シバタ建築設計事務所 富山県小矢部市東町7-3 O TEL. 0766(68)1177 / FAX. 0766(68)1321 管理建築士 第21408121601014号 一級建築士 大臣登録 第344849号 柴田 昭浩 https://shibata-and-associates.com/	Drawer 一級建築士 大臣登録 第344849号 柴田 昭浩	Drawing No. A-120
	長岡技術科学大学(上富岡町) 附属図書館改修実施設計業務(建築・設備)	Drawing Name. 外構図(改修後)	File Name.	Date 2025.06				